

実際にリフォームを進めるには、 どうしたらいいの？



情報収集から工事完了まで、
8つのステップがあります。

リフォームのための一般的な手順を紹介しましょう。
手順を知っていればトラブル防止に役立ちます。

1 情報収集

- ▼ ●家族で話し合い、リフォームする部分をはっきりさせる
- ▼ ●必要な情報を集める(ショールーム、インターネットの利用など)
- ▼ ●法律や規約などを調べる(マンションでは管理規約に注意)



2 プランの検討

- ▼ ●住まいの構造を知る(在来構法、ツーバイフォー構法など)
- ▼ ●設備機器の適正な組み合わせを確認
- ▼ ●耐震性、省エネ性、バリアフリー対応など将来への備えも考慮



3 資金計画

- ▼ ●大まかな見積りなどをもとに工事費の目安を把握する
- ▼ ●住宅金融公庫などのリフォーム融資制度の活用を検討する
- ▼ ●固定資産税などリフォーム後の税金面の負担を確認する



4 事業者選び

- ▼ ●リフォームの工事内容にあった事業者を選ぶ
- ▼ ●事業者選びは相見積り^{あい}を取るなど慎重に
- ▼ ●事業者の中に資格を持っている人がいるかも大きな目安



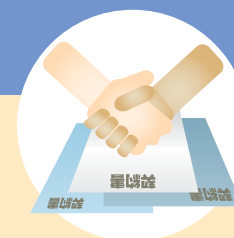
5 見積り

- ▼ ●項目ごとに材料や人件費などが出ているかを確認
- ▼ ●指定した製品が記入されているかを確認
- ▼ ●不明な点は納得がいくまで確認



6 契約

- ▼ ●必ず契約書を取り交す
- ▼ ●工事金額、工期、引渡し期日などを確認
- ▼ ●トラブルが生じたときに必要な約款^{やっかん}の規定を確認



7 工事中

- ▼ ●着工前には近隣への挨拶^{あいさつ}を忘れずに
- ▼ ●現場を見学^{しんちよく}し、進捗状況を確認
- ▼ ●工事内容の変更・追加があったときは書面で確認



8 工事完了後

- ▼ ●引渡し前に工事内容や使い方などを確認
- ▼ ●竣工検査は事業者とともに
▼ ●工事完了確認書を取り交し、きちんと保管

